



パネル下で育つ黒大豆

**ソーラーシェアリングの地・市原市**

「ソーラーシェアリング」とは、畑の上に間隔を空けて設置された太陽光パネルで発電を行う営農型発電のこと。農業と発電のW収入で農業を活性化させる切り札として、今注目を浴びている。

発案者の長島彬さ

んが、この営農型発電の実証実験を市原市皆吉の地で始めたのは、2010年。太陽光パネルが、下の作物の生育を邪魔するどころか促進させることを実証。無料でネット公開し普及に努めた結果、今や千葉県を筆頭に全国に広がりを見せている。

### ソーラーシェアリングの実践地・匝瑳市

これを実践で展開した立役者が、元有機野菜販売業の東光弘さん。パネル下で育つ野菜の質の良さに「これはいい」と将来性を直感したという。

福島原発事故後、再生可能エネルギーの売電開始を追い風に、17年には匝瑳市に営農型発電で日本最大級の1メガワット（電気代が月1万円程度の家庭用70戸を賄える電気量）の発電所が開設。その周辺にも小規模発電所が21カ所と増え続け、その小規模発電所の発電量総計も1メガワットに及ぶまでに伸びてきた。

「発電収入のおかげで手間のかかる有機

買い物や体験イベントが楽しめる!

# ソラシェア収穫祭

太陽光を耕作と発電でフル活用する「ソーラーシェアリング」。その豊かな世界を、多くの人々と分かち合いたい! そんな思いから、今年も「ソラシェア収穫祭」が開催される。



昨年のソラシェア収穫祭



匝瑳メガソーラーシェアリング第一発電所

農業でも採算がとれる。耕作放棄地が生き返り、農業再生、地方活性化につながる」と語る東さん。パネル下で育った麦で地ビールを生産も計画進行中だ。

### ソラシェア収穫祭で、太陽の恵みを実感

今年で3回目を迎える収穫祭。ソーラーシェアリングの壮大な景色を見渡しながら、おいしい食事や農産物や加工品などの買い物も楽しめる。

ソーラーシェアリングを実際に見ながら関係者と交流したり、さまざまな体験イベントに参加したりと、特別な一日が過ごせそうだ。

今年は、こみから作

### ソラシェア収穫祭

**日時** 11月17日(日)午前10時半～午後3時

**場所** 匝瑳メガソーラーシェアリング 第一発電所  
(匝瑳市飯塚3250)

**料金** 入場無料

**問い合わせ**

TEL 0479 (85) 6760 東

HP <https://solar-sharing-fes.jimdo.com/>

※詳細はこちらを参照

る楽器をダイナミックに演奏し海外でも活躍するkeyaki / 櫻さんが登壇。匝瑳市で集めた「こみから、子どもたちと楽器を一緒に作る。その演奏が祭りをさらに盛り上げることができる」という。

(F)